

# 兵庫県立淡路医療センター

## 整形外科

### 指導担当医（役職）

澤村 悟（副院長兼整形外科部長）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

#### 概要

当センターは淡路島唯一の救急救命センターを有する総合病院であることから、整形外科では骨折外傷を中心とした多くの症例を経験することができます。特に淡路は超高齢化社会であり、大腿骨頸部骨折手術件数は日本でもトップクラスの症例数です。救急症例も多く、多岐にわたる四肢の骨折や骨盤骨折も多く経験できます。また、脊椎疾患、関節疾患などの慢性疾患に対する手術も幅広く手掛けており、整形外科全般にわたって豊富な症例を経験することができます。

整形外科では、毎年3～4名の専攻医およびレジデントが1年のローテーションで研修をしています。実習では、これらの若い先生方とともに患者さんを担当し、症例を通じて整形外科全般にわたって経験・実習してもらいます。

#### 実習スケジュール

- ・カンファレンス：毎朝8:20より、手術・救急を中心とした症例の検討
- ・手術：毎日3～5件（年間1000件あまり）、1～2列
- ・外来：毎日2～3診
- ・救急：随時

専攻医・レジデントの先生方とともに患者さんを担当し、主に手術を通じて整形外科の入院診療を学んでもらいます。外来診療も見学できます。

救急も多く、担当の手術がない時などに救急症例があれば、経験できます。希望があれば、夜間・休日のオンコールを経験してもらうこともできます。

## 学生へのメッセージ

整形外科では、年間1000件あまり、ほぼ毎日3~5件の手術の手術を行っています。整形外科全般にわたる疾患を手掛けており、2週間の実習だけでも、多岐にわたる整形手術を経験することができます。特に骨折外傷の症例が多く、ほぼ全ての部位の骨折症例がありますが、中でも大腿骨頸部骨折手術は年間350症例を数えるため、実習期間中に手術執刀経験もできることと思います。また脊椎手術や人工関節手術などの慢性疾患の手術も毎週4~5例行っています。脊椎骨折や骨盤骨折などの高度救急外傷も頻繁にあります。これらの多岐にわたる整形外科症例を専攻医・レジデントの若い先生方とともに経験・学ぶことで、楽しく充実した実習ができます。是非、当センター整形外科を選択してください。